

2023(令和5)年度「日韓スカウト交歓計画(韓国スカウト招聘)」

事業実施基本構想

2023.9.28.現在

1. 事業実施の経緯

1999(平成11)年度から2012(平成24)年度までの14年間に渡り、ボーイスカウト日本連盟は、政府の委託事業として韓国スカウト連盟を招聘することにより日韓スカウト交歓計画を実施した。そして、2013(平成25)年度には日本連盟の自己財源により実施し、15年間の事業に区切りをつけた。

通算15年間実施した日韓スカウト交歓計画には、韓国から約2000人のスカウトと指導者が来日し、関連して開催された日韓スカウトフォーラム等の日本参加スカウト約1500人と交流した。また、彼らが参加したジャンボリー、ベンチャー大会、各地でのキャンポリー、ホームステイを含めると10,000人以上が交流し、国際理解と相互理解を深め、スカウト間のみならず両国の良好な関係を築く一翼を担ってきた。これまでの参加者の多くは、現在では両国の関係維持・向上に貢献する指導者として両連盟で活躍をしている。

この成果を踏まえ、日韓両国スカウト連盟では、参加者が更に相互理解と良好な関係を深めるために事業を再開することに合意し、日本連盟は「日韓スカウト交歓計画(韓国スカウト招聘)」、韓国連盟は「韓日スカウトフォーラム(日本からの派遣)」を改めて開始することとした。

2015(平成27)年度に再開し、2019(令和元)年度までの5回で韓国から毎年約40人、通算で指導者21人、スカウト178人、合計199人を招聘した。交流に参加した日本のスカウトは221人、各地でのホームステイでは93家庭がこの事業に参画し相互理解を深めた。

2020(令和2)年度からは、新型コロナウイルス感染拡大と韓国連盟の第25回世界スカウトジャンボリー準備を考慮し、事業を中止していたが、2023(令和5)年度に2024年1月6日から1月14日までの9日間、韓国からスカウト27人、指導者4人、合計31人を招聘して事業を実施する。

2. 事業テーマ

「よりよき理解・明るい世界」 ～Better Understanding, Brighter World～

3. 目的

- (1) 日韓両国のスカウトの交流を通して相互理解を深め、更なる良好な関係を計る
- (2) 韓国の参加者に次の機会を提供し、日本に対する理解を深める
 - 日本の社会・歴史・文化・自然・教育等の見学
 - 日本の生活様式を体験する
 - 日本の中高生年代との交流を通して若者の文化や考え方を知る
- (3) 日本の参加者は、韓国参加者から次の機会を得る
 - 韓国の歴史・文化・社会を知る
 - 韓国の中高生年代との交流を通し、若者の文化や考え方を知る

3. 主なプログラム

目的を達成するため、以下の2つの柱のプログラムを行う

- 日韓両国の同年代スカウトの交流（中高生年代・相互理解のためのフォーラム等）
- 東京周辺での社会、歴史、文化、芸術、科学技術、教育等の見学・体験学習

4. 事業概要

期 間：2024年1月6日（土）～14日（日） 9日間

場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター 他

人 数：韓国参加者（指導者4人、スカウト27人） 31人

日本参加者（3日間の交流プログラム参加） 47人以内

実行委員・交流プログラムスタッフ 20人程度

見学プログラム同行スタッフ 2人程度

日程案：1月 6日（土） 韓国参加者到着・開会式・日韓スカウトによる交流 NYC泊
1月 7日（日） 日韓スカウトによる交流 NYC泊
1月 8日（月） 日韓スカウトによる交流、日本参加者解散 韓国参加者NYC泊
1月 9日（火） 韓国参加者 東京または周辺の学校見学 NYC泊
1月10日（水） 韓国参加者 周辺の見学（富士・箱根・伊豆等）周辺泊
1月11日（木） 韓国参加者 周辺の見学（鎌倉・横浜等）NYC泊
1月12日（金） 韓国参加者 都内見学（浅草寺・スカイツリー・科学館・他）NYC泊
1月13日（土） 日韓スカウトによる都内見学・歓送夕食会・閉会式 韓国参加者NYC泊
1月14日（日） 韓国参加者 帰国

以 上